



本日は 第2937回 例会  
プログラム  
心を伝える文字の表現について  
No.2760 7月30日(木)

次週以降の予定  
8月6日(木) 新入会員卓話  
8月13日(木) 休会  
8月20日(木) 創立記念例会(夜間)

第2936回 例会報告

2015年 7月23日(木)

会長挨拶



会長就任第1回目の例会では、RI会長ラビン・ドラン氏の「世界へのプレゼントになろう。」についての考え方を述べさせていただきました。2回目の例会は、公務のため欠席させていただきましたが、3回目の例会では、「高潔について」説明させていただきました。そして本日4回目は、私の年度スローガン「未来を育てるロータリー」を解説させていただきます。本当は、「未来を育むロータリー」にしたかったのですが、ワープロを打っていて後から直そうと書いてそのまま提出してしまいました。内容のほうは以前に説明させていただきましたが、今起きている多くの諸問題を解決しようとする「教育、育む」という言葉に行きついてしまったので、こういうスローガンに決めました。奇しくも本日、ゲストお迎えした前田滝川市長の就任以来年始の仕事始め式の時に発表になった今年の展望を一字で表すとで、1年目は「興」、2年目は「育」、3年目は「動」で、そして今年は「継」でした。その2年目の「育」をパクったのではないかという疑惑もありますが、一寸参考にさせていただきました。「教育」は、英語でEducationといいますが、この語源はラテン語のEducereで、ラテン語のe-(外へ)+ducere-(導く)というものでありまして「子どもに内在する可能性を引き出す」という意味があるそうです。また、educareという動詞だという説もありますが、私は能力を引き出すという意味にとらえることが好きであります。引き出すの英語はCoachingですが、もともとは「人に教えることはできないが、人が悟るように手助けすることはできる」とガリレオ・ガリレイが言っています。コーチングという考え方は、1500年代にすでに登場しているのです。「コーチ」が英語として使われるようになったのは16世紀で、当時は「馬車」という意味で使われていました。ハンガリー北部にあるコークスという村では、自家用四輪馬車が作られており、それが語源となったと言われております。色々な教育の現場では、Teacher(教える人)は必要ですが、能力を引っ張り出してくれるCoacherの存在がものすごく重要だということですので、そういう意味をこの「未来を育てるロータリー」に託して事業を展開していきたいと思っております。ご協力をよろしくお願いいたします。会長挨拶を終わります。来週から喋る事柄が思い浮かびません。

会員情報

北海道交通遭難者家族の会より「旗の波」運動

の参加をお願いします。

8月19(水) 指名委員会があります。委員の方は出席は宜しくお願いします。

幹事報告



- ①. 砂川IRCより会報が届いております。
- ②. 来月8月6日(木)は、第8回定例理事会が開催されます。10月に担当例会をお持ちの各委員長さんは、事業実施計画書の提出準備をお願いします。
- ③. 上期会費納入の件ですが、お忘れの方は今月末までに納めていただきますよう、ご協力をお願いします。

委員会報告



親睦活動委員会 本間 保明 委員長  
先週の木曜フォーラムのお礼。  
創立記念例会のご案内。内容に付きまして講師のご案内をしますと藤井謙和会員です。懇親会の中では「ロータリーなら解るでしょう。ウルトラクイズ」を予定しておりますので是非出席して下さい。

会員情報



山崎 修 会員  
当クラブの会員でもある柳会員が実行委員長を務めているmoa子どもたちの絵画児童作品展毎年皆様のご協力の下、今年も実施されます。どうぞ宜しくお願いいたします。

先週のプログラム

◇プログラム委員会担当例会◇

ーゲスト卓話ー



藤井 照也 委員長  
本日は前田滝川市長をお招きし、「滝川創生」という大きなテーマを持って日々政策・課題に取り組んでいらっしゃいます。おそらく滝川も他の地域と同様に厳しい現状があるのではないかと思います。そんな中で今日は滝川の明るい未来を語っていただこうと思います。

## 「滝川創生」

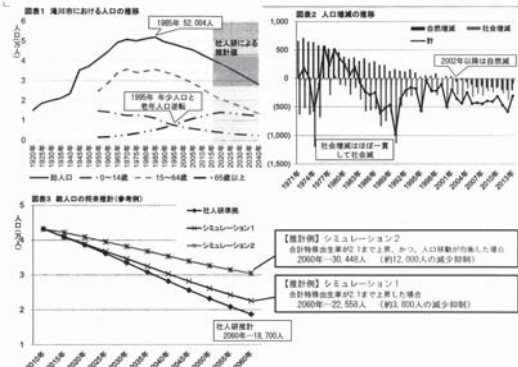


滝川市長 前田 康吉 様

本日は伝統あるロータリークラブの講師にお招き頂き、光栄にまた恐縮に思っております。滝川の取り組みと今後個人的私が思っていることをお話させていただきます。

お手元の資料に「滝川市における人口推移・人口増減推移・将来推移」があります。人口減の話をしめると、1985年滝川は52,000人いた人口がピークでした。今日現在41,773人です。その差は11,000人です。この数字は多いか少ないかといわれますと、中空知全体では300,000人いた人口が今110,000人です。滝川は人口減少の対策がなされていきましたので、その効果は表れていると思われま。

### 滝川市における人口推移・人口増減推移・将来推計



出生率の話をしめると、滝川市は平成25年度1.43です。全国平均と同等で北海道平均値は1.28で中空知の中でも滝川は高い出生率であります。民間の産婦人科特に西村先生の存在が大きいと感じております。

総合戦略策定体制ですが、庁内には市長・副市長・教育長など、庁外は有識者・産業界・大学・金融機関・労働団体等が入っております。これからはタウンミーティングを行い、この間は高校生、国学院短大生からの意見も聞きました。皆様からのお知恵を頂き新しい滝川を創生するのだと考えております。国の支援というのがあり、上乗せ交付金をプレミアム商品券として活用させて頂きました。滝川市はより早く手を上げさせて頂き第二回目も国から支援をもらえます。

一般全国市長会の代表7人の中に私も選ばれ、ヒアリングに行きまいりました。石破大臣、小泉政務官をはじめ各省庁のいる中で地方の現状・お願いを訴えてきましたが、その場でも国の反応がよくわからないという感じでした。滝川市の経常経費比率は99.2%で、夕張市は120%です。残念ながら滝川は全道2位で非常に悪いのが現状です。

切実な願いは雇用の問題です。建築関係の人材不足は顕著であり、その他に製造業でも同様です。働く方のシーズと雇用側のニーズの違いが顕著に出ているようです。

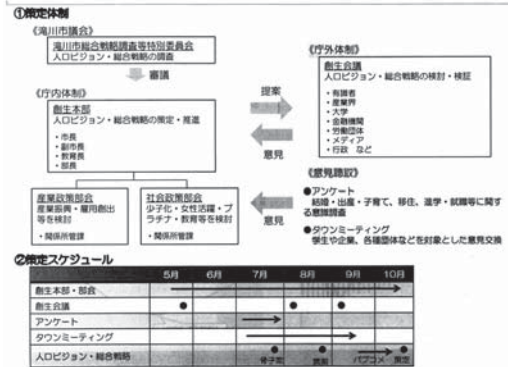
これから滝川市も高齢化社会を迎えます。60歳以上の全国平均が28%で、滝川は30%です。中空知全体では35%を越えております。介護人材を

どう増やしていくのか、テレワークと地元女性の雇用を増やせないか話し合っているところです。緑寿園を改築予定であります、人の確保が課題です。人の確保のために国学院短大に支援をし、地元の子もたちにこの町の残って働いてもらう事、その教育環境を作る事、他の町から滝川に来てもらう事に繋がると考えます。

これから行いたい3つの事項があります。1つ目は教育です。西高という市立高校があります。滝川から市外の高校へ通う生徒は20%を切っています。小学校から切れ目ない連携教育の充実です。2つ目は高齢者対策滝川版「CCRC」を作り、元気なお年寄りの方に来ていただく事は出来ないかを考えています。低年金の方に低家賃で提供できるケア付きの住宅を作る事も必要です。3つ目は産業ですが、生薬を作る企業が来ます。作った作物をすぐ加工し、乾燥し原料立地型の産業が必要となると思っています。滝川の将来の少し先が見えてきたかなと思っております。以上が滝川の総合戦略骨子であります。

滝川は発展可能性都市である事をお話させて頂きました。

### 滝川市人口ビジョン・総合戦略の策定体制・スケジュール



## ニコニコBOX

高山 訓正会員

今年度初めて、石黒会員の顔を見て。

石黒 安雅会員

久しぶりに出席できて。

松橋 和博会員

皆出席100%で！

藤井 照也会員

担当例会を終えて、前田市長有難うございました。

会長／宮崎 英彰  
幹事／渡辺 浩司  
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp  
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30

例会場●ホテルスエヒロ

事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16

TEL (0125) 22-3344

FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。